

せたがや グリーンインフラガイドライン

Setagaya Green Infrastructure Guidelines

アンケート調査の
結 果



アンケート調査

1 方法

(1)調査対象：区民

(2)対象数：20歳～59歳（1,511）、60歳～79歳（489）の合計2,000

(3)調査方法：配布(郵送)・回収（原則WEB、60歳以上はWEB及びハガキ回答の併用）

(4)調査期間：令和5年11月14日発送(15日着)～29日〆切

(5)有効回答数：278（WEB回答：163件、ハガキでの回答：115件）

*回答率：13.9%

2 結果

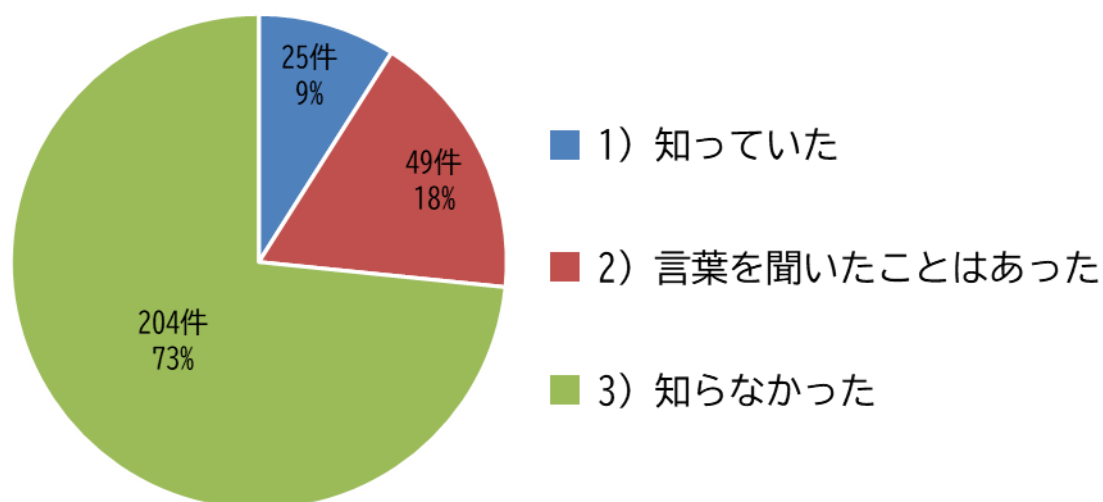
以下に、得られた回答の単純集計と主な設問についてのクロス集計の結果を示します。

本調査結果より得られたグリーンインフラの取組みに係る課題と区の対応方針については、ガイドライン【本編】「4.3 今後のグリーンインフラの普及啓発に向けた取組み」(p. 34～35)に整理しました。

1)単純集計結果

問1 「グリーンインフラ」を知っていましたか。(答えは1つ)

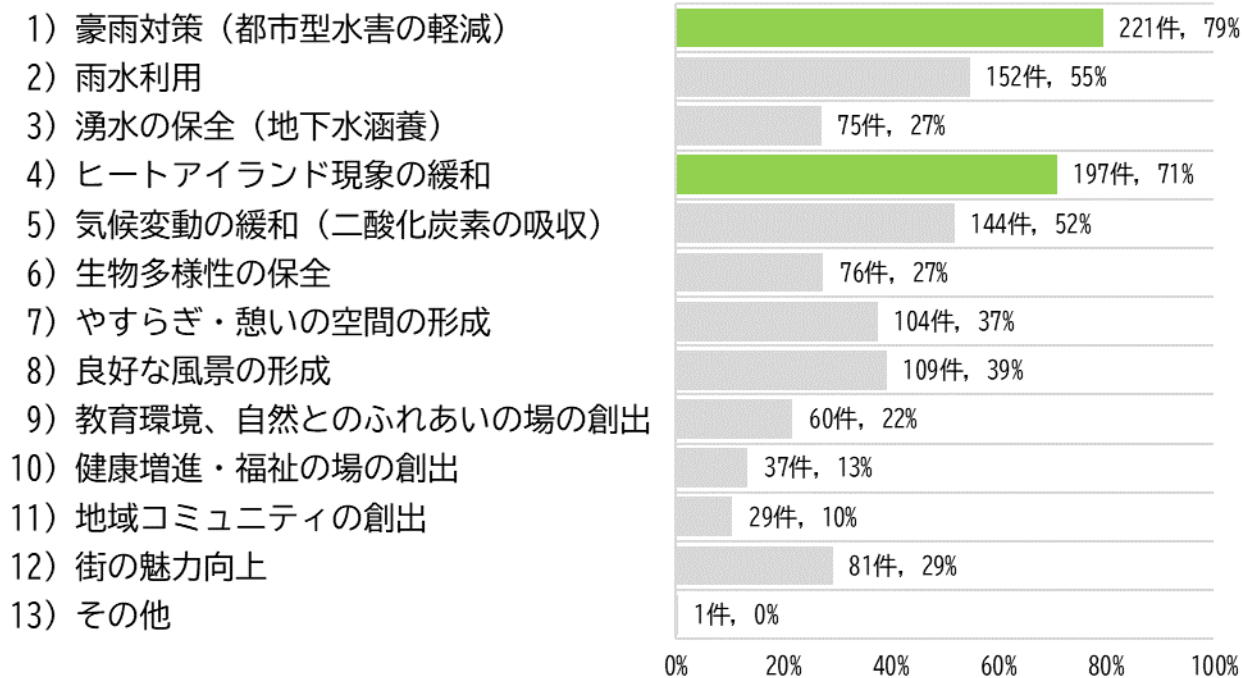
グリーンインフラを「知っていた」人が 9%、「言葉を聞いたことはあった」人が 18%、「知らなかった」人が 73%であり、グリーンインフラを内容まで知っていた人は1割に満たないことがわかりました。



問 2 あなたが「グリーンインフラ」に期待するもの（メリット）は何ですか。（いくつでも）

グリーンインフラに期待するもの（メリット）については、1位が「豪雨対策（都市型水害の軽減）」、2位が「ヒートアイランド現象の緩和」でした。

グリーンインフラが「豪雨対策（都市型水害の軽減）」や「ヒートアイランド現象の緩和」に有効であることを認識していることがうかがえます。

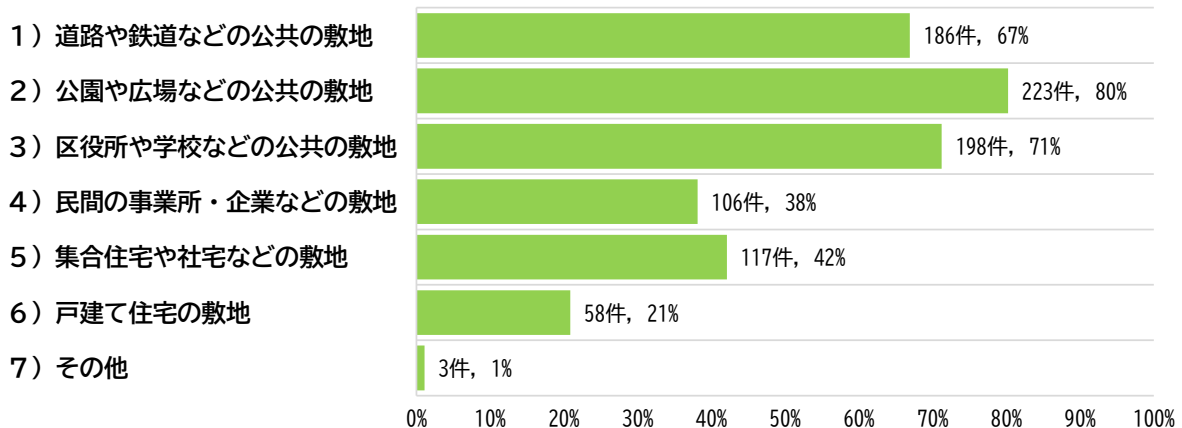


問 3 あなたは、次の「ア)～キ)」に示す「グリーンインフラ」の主なメニューについて、それぞれどのような場所で取組むことが望ましいと思いますか。答えは選択肢の中から選んでください。（いくつでも）

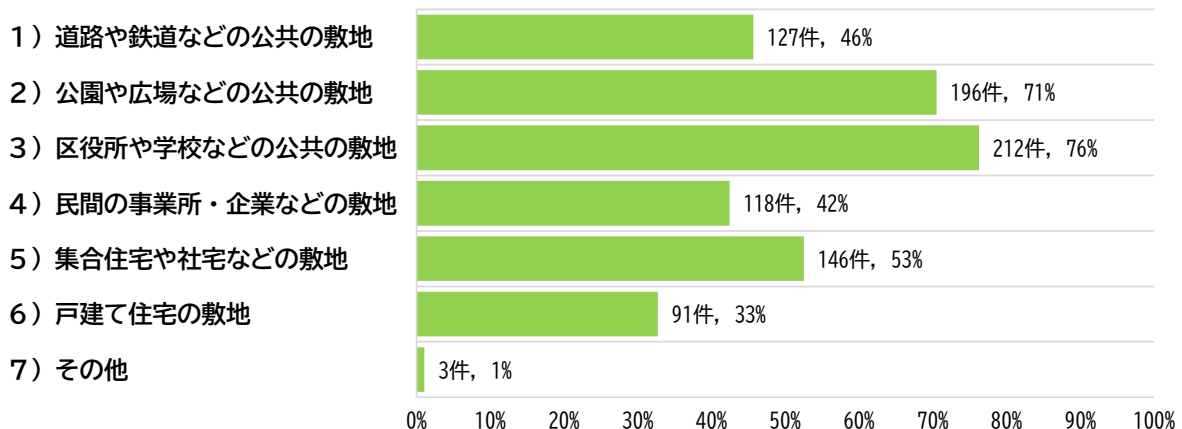
今回提示したグリーンインフラの主なメニューについて、どのような場所で取組むことが望ましいかを質問したものです。

「雨水浸透施設（雨水浸透ます・浸透トレンチ）」、「透水性舗装」のように、『豪雨対策（都市型水害の軽減）』や『湧水^{かんよう}の保全（地下水涵養）』に効果が限定される施設については、公共の場での導入を望む回答が多く、「雨水タンク」、「生垣などの植栽」、「壁面緑化・屋上緑化」、「雨庭」、「花壇、プランター」のように、雨水の利用や植物要素が加わる施設については、民間の敷地での導入を望む回答も増加する結果となっています。

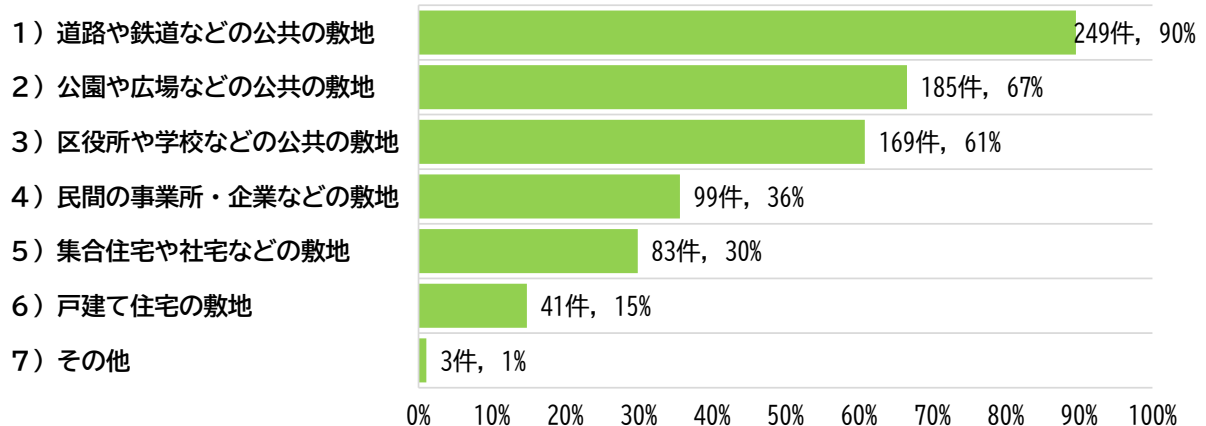
ア) 雨水浸透施設（雨水浸透ます・トレンチ）



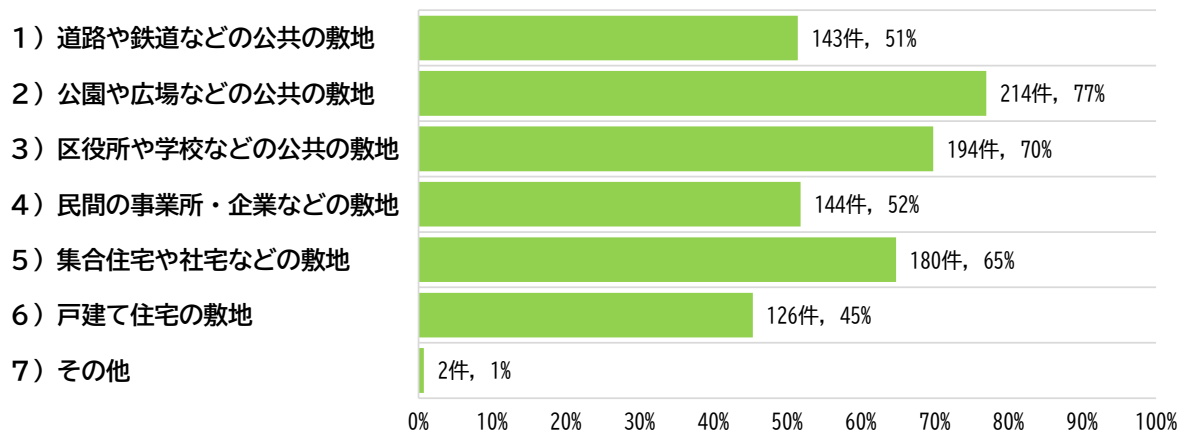
イ) 雨水タンク



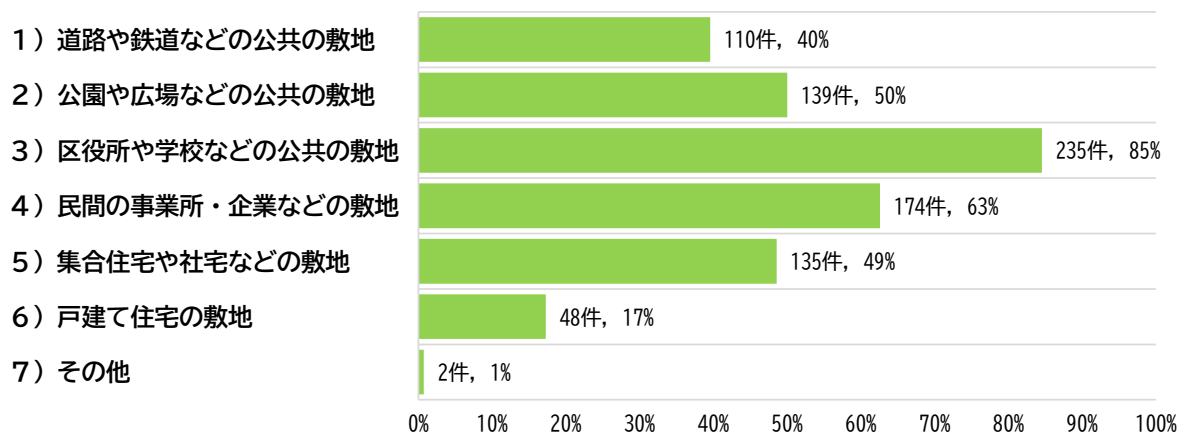
ウ) 透水性舗装



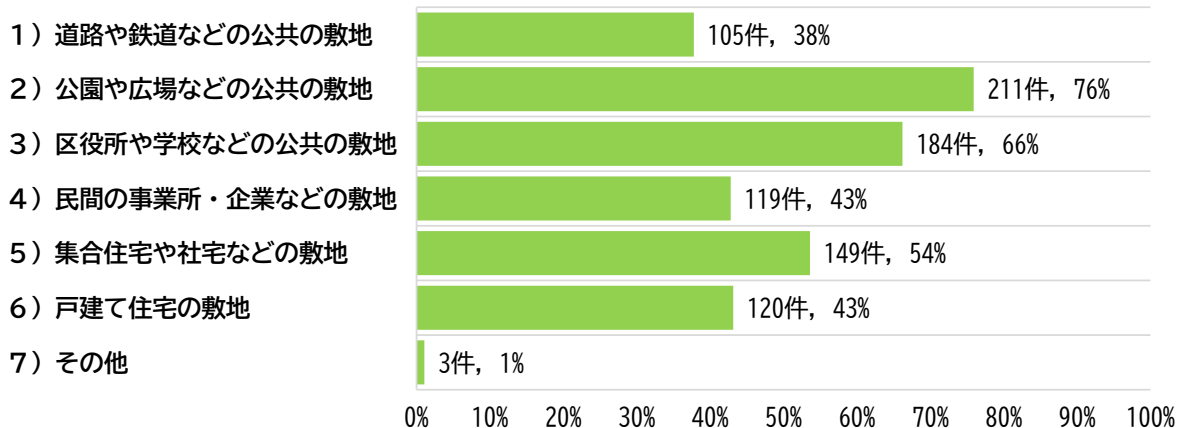
エ) 生垣などの植栽



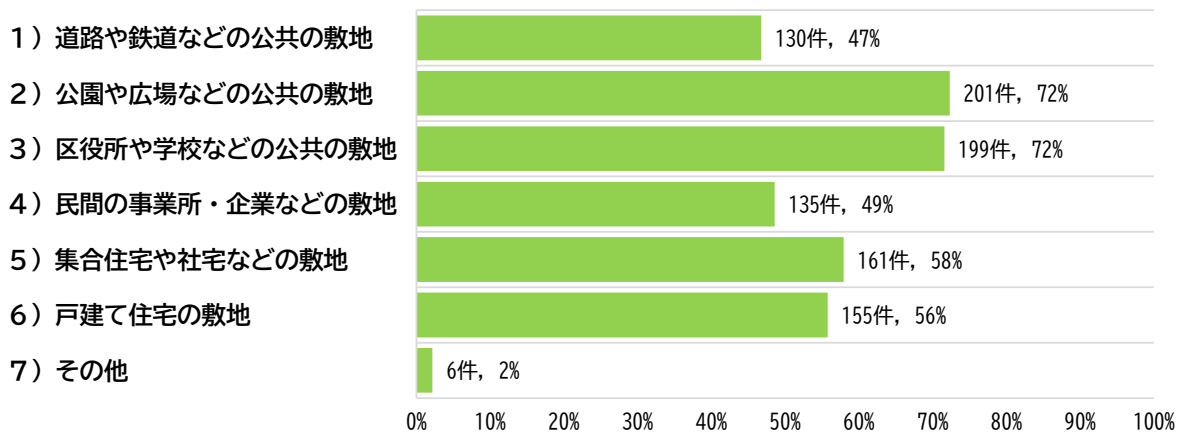
オ) 壁面緑化・屋上緑化



カ) 雨庭（浸透性を高めた庭）

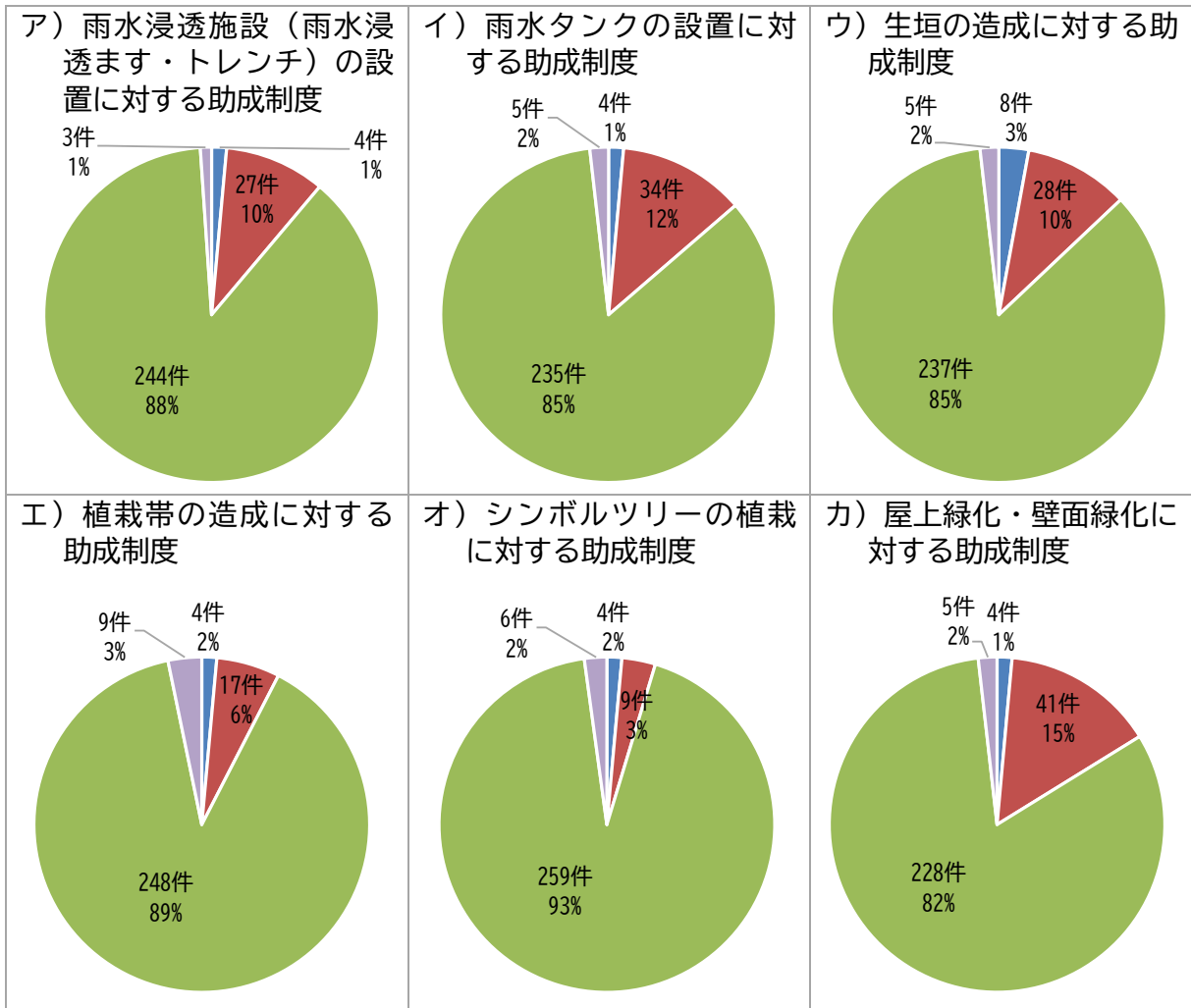


キ) 花壇、プランター



問 4 区では、区民のみなさんが「グリーンインフラ」の取組みを行う際に利用することができる各種の「助成制度」を用意しています。次の「ア）～カ）」に示す制度について、知っていましたか。 答えは選択肢の中から選んでください。（答えはそれぞれ1つ）

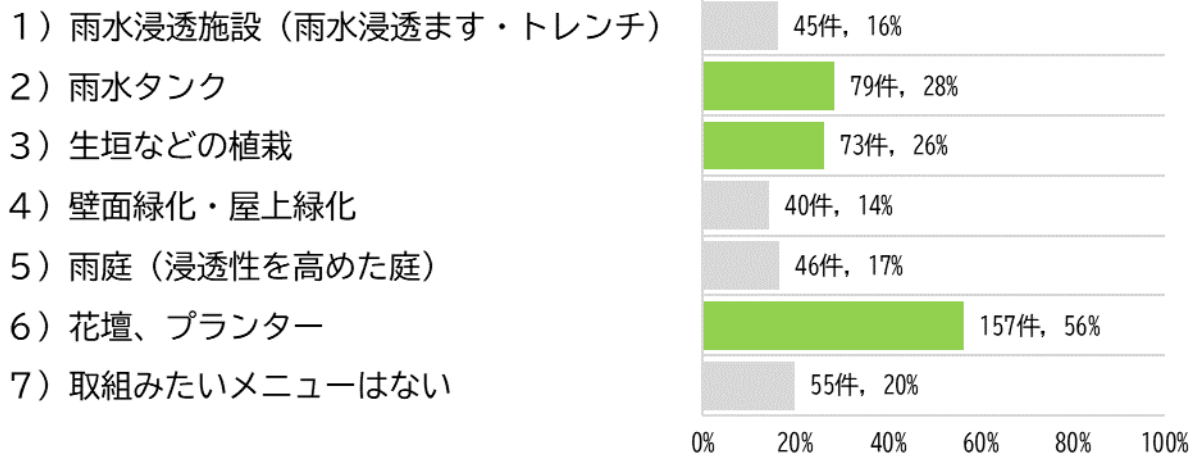
提示した6つの助成制度の全てで、8割を超える人が「制度のことを知らなかった」と回答しています。



- 1) 制度の内容まで知っている
- 2) 制度があることは知っている
- 3) 制度のことを知らなかった
- 未回答

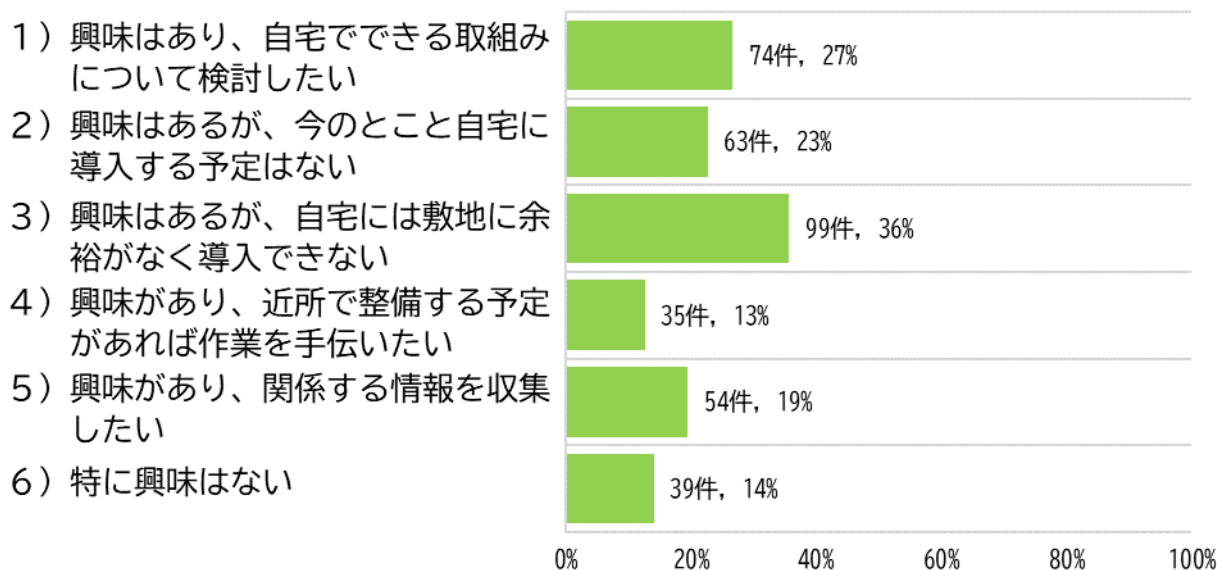
問 5 あなたが、今後ご自身で取組みたい「グリーンインフラ」のメニューはありますか。（いくつでも）

今後、自身で取組みたいグリーンインフラのメニューについて、1位は「花壇、プランター（56%）」、2位は「雨水タンク（28%）」、3位は「生垣などの植栽（26%）」となりました。



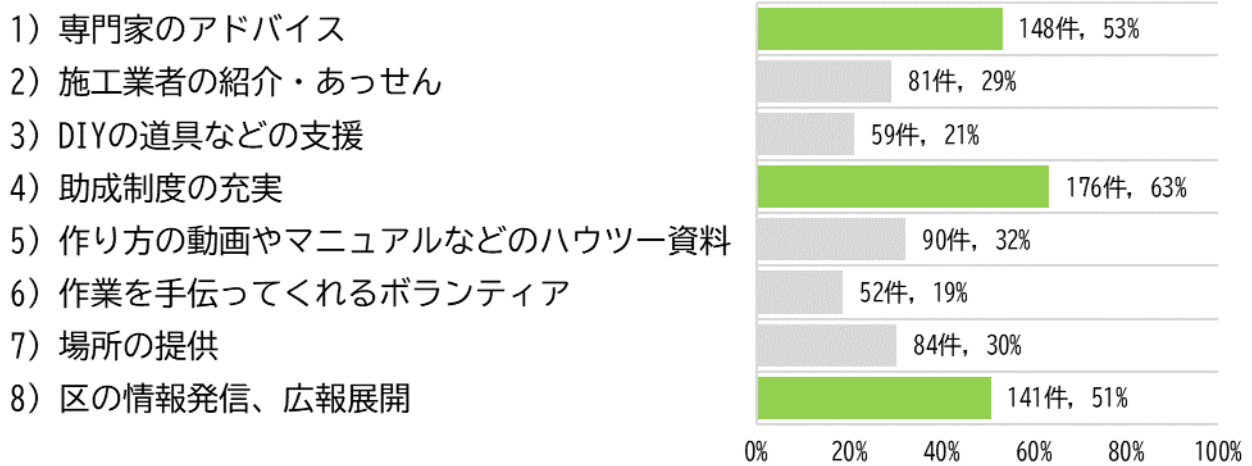
問 6 あなたご自身の「グリーンインフラ」の取組みへの考え方について教えてください。（いくつでも）

自らが実施する立場になった場合の導入可否等について質問したものであり、「興味があり、自宅でする取組みについて検討したい（27%）」、「興味があり、関係する情報を収集したい（19%）」といった前向きな回答も見られますが、最も多かった回答は、「興味はあるが、自宅には敷地に余裕がなく導入できない（36%）」であり、その他にも、「興味はあるが、今のところ自宅に導入する予定はない（23%）」、「特に興味はない（14%）」といった、あまり前向きではない意見も見られます。



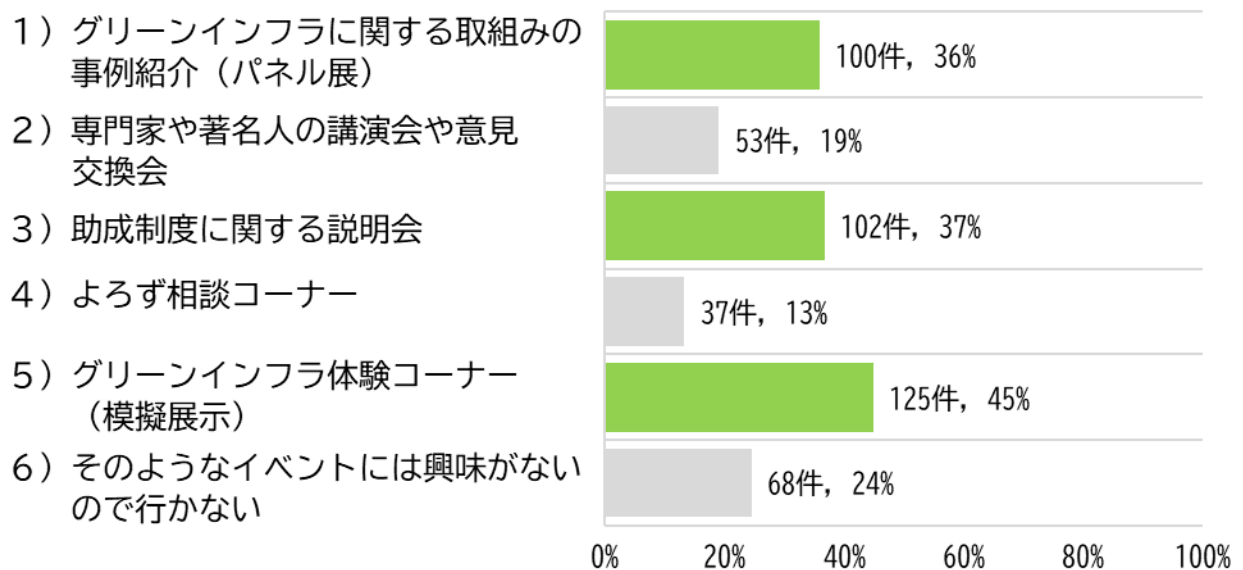
問 7 「グリーンインフラ」のさまざまな取組みを拡げていくために、必要なものは何だと思いますか。（いくつでも）

回答者が、これがあればグリーンインフラの取組が広がるのではないかと考えているものを質問したもので、1位が「助成制度の充実(63%)」、2位が「専門家のアドバイス(53%)」、3位が「区の情報発信、広報展開(51%)」でした。



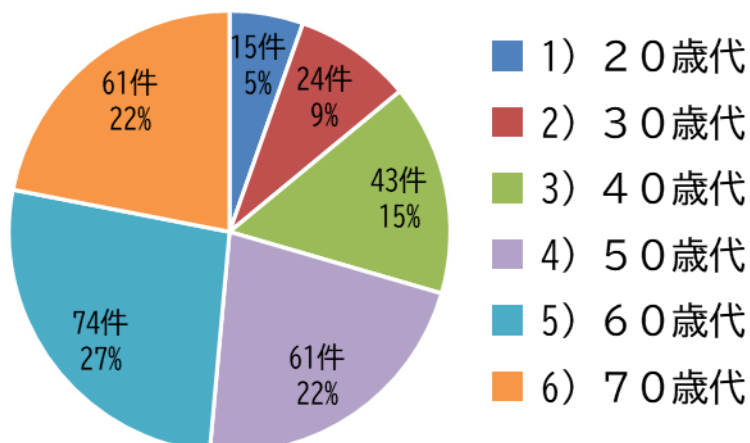
問 8 「グリーンインフラ」に関するイベントが今後開催されるとなったとき、どのような内容があったら会場に足を運びますか。（いくつでも）

「グリーンインフラ」に関するイベントで興味がある内容についての質問では、突出した回答は見られず、1位が「グリーンインフラ体験コーナー（模擬展示）(45%)」、2位が「助成制度に関する説明会(37%)」、3位が「グリーンインフラに関する取組みの事例紹介（パネル展）(36%)」でした。



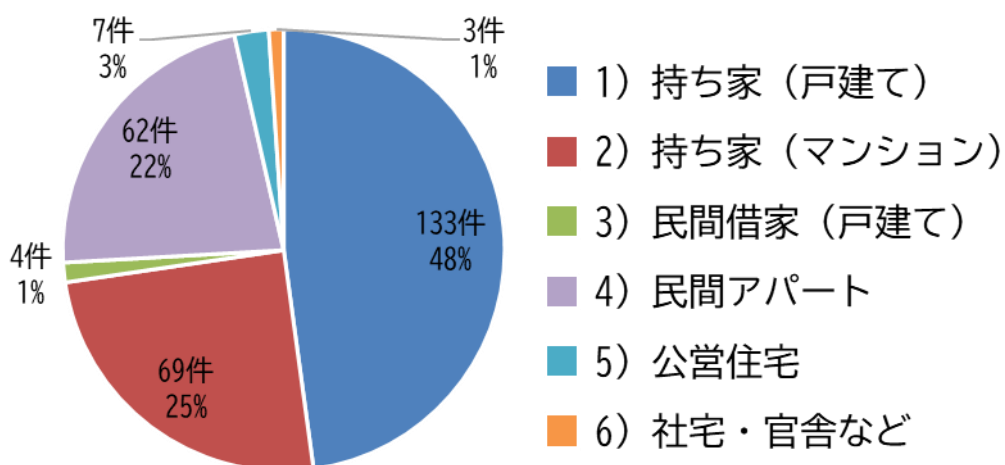
問 A. あなたの年齢について、あてはまるものを選んでください。（答えは1つ）

回答者が最も多い年齢層は 60 歳代であり、全体としては、高齢の人ほど回答率が高く、若い人ほど回答率は低い傾向にありました。



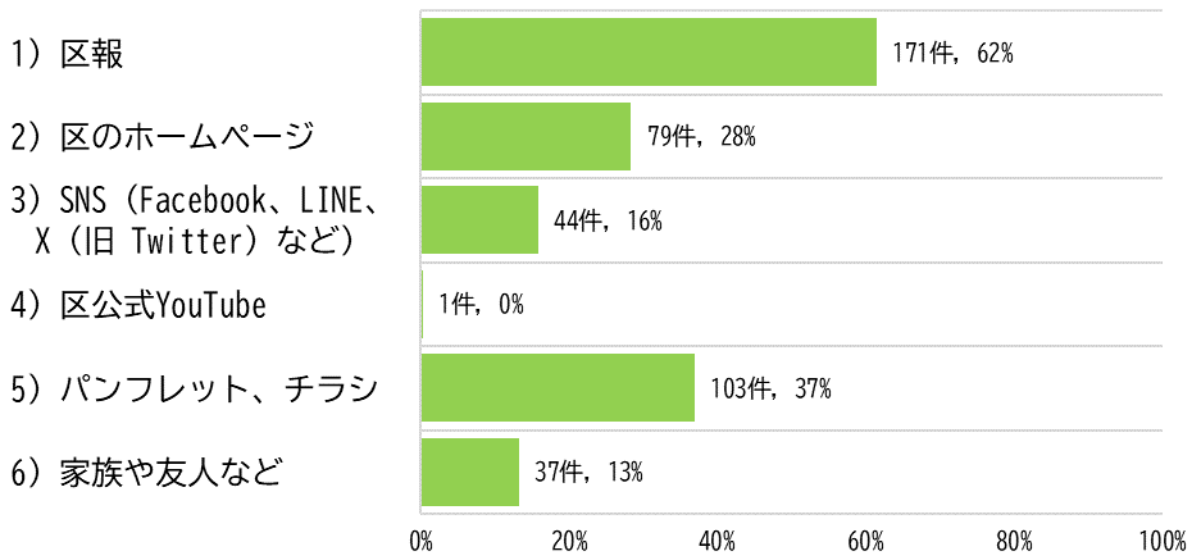
問 B. あなたのお住まいについて、あてはまるものを選んでください。（答えは1つ）

回答者の居住形態について、1 位が「持ち家（戸建て）（48%）」、2 位が「持ち家（マンション）（25%）」、3 位が「民間アパート（22%）」であり、持ち家（戸建て・マンション）の人の割合は 73%にのぼっています。



問C. あなたは、区からの情報を次の何で知りますか。（いくつでも）

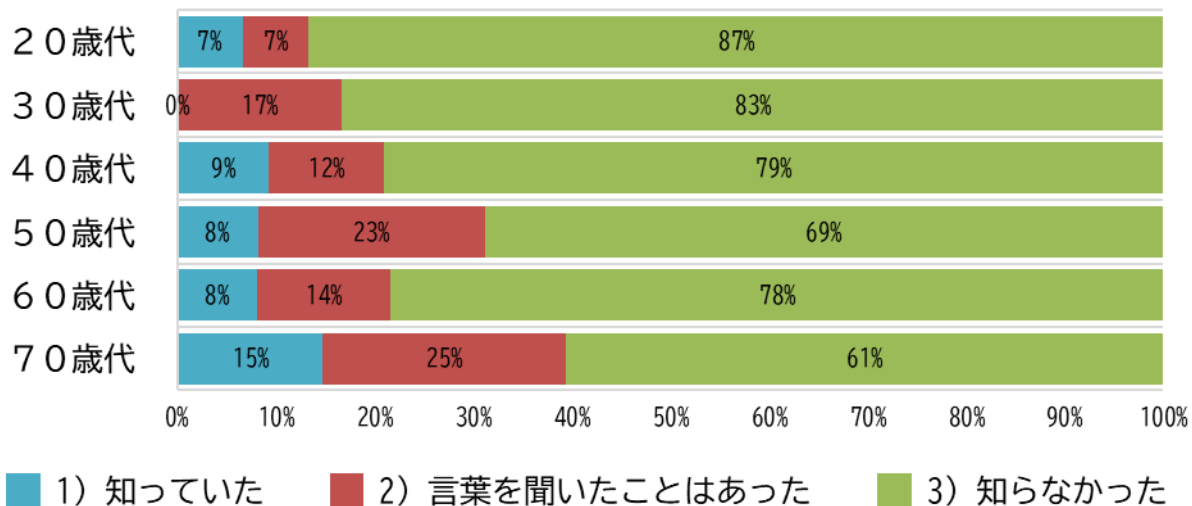
区からの情報の入手手段を見ると、「区報」や「パンフレット、チラシ」といった媒体を選択する人が多くみられました。一方で、インターネットに接続することを前提とする「区のホームページ」、「SNS」、「区公式YouTube」を選択する人は比較的少なく、特に「区公式YouTube」については1件でした。



2) クロス集計結果

問1×問A 年代による認知度には違いがあるか。

年代別に見ると、「知っていた」と「言葉を聞いたことはあった」をあわせた割合が最も高かったのは70歳代であり、最も低かったのは20歳代でした。



問A×問C 年代別に選択される区の媒体

年代別に見ると、20歳代で最も多く選ばれた媒体はSNS（41%）であり、区報は9%にとどまっています。逆に、70歳代で最も多く選ばれた媒体は区報（60%）であり、SNSは1%にとどまっています。

